

令和4年度 兵庫県高等学校対抗テニス新人大会 実施要項

1 予選（ベスト8まで）

(1) 日程

10月1日（土）・・・1～4回戦（16分割の会場は3回戦まで）

9時 集合 9時15分 出席メキ 9時30分 試合開始

※ただし、次の会場は2日（日）スタートとする。（女子）雲雀丘会場、甲南女子会場

10月2日（日）・・・4回戦 原則として上位シード校にて行う

9時 集合 9時15分 出席メキ 9時30分 試合開始

※4回戦会場校は、対戦校にコートでの練習時間を確保すること

10月8日（土）・9日（日）・・・予備日

(2) ドロー番号・試合会場

①男子

ドローNo	1～5	6～11	12～17	18～23	24～29	30～35	36～41	42～46
会場校	相生学院		仁川	須磨学園	神戸	灘	甲南	
ドローNo	47～51	52～57	58～63	64～69	70～75	76～81	82～87	88～92
会場校	御影	報徳	村工ひよどり	川西明峰	明石商業	姫路東	関学第2F	

★ 関学第2F会場、村工ひよどり会場は兵庫県高体連ホームページの会場案内を参照して下さい。

②女子

ドローNo	1～5	6～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39
会場校	相生学院	甲南女子	尼崎稲園		雲雀丘		加古川北	
ドローNo	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～73	74～78
会場校	啓明	市西宮	県西宮		明石城西		豊岡	

(3) 試合方式

- ・試合は全て1セットマッチ
- ・ダブルス2本、シングルス3本の5ポイント
- ・試合順序は S1 → D1 → S2 → D2 → S3 を原則とする
- ・初回戦は5ポイントすべて行うが、以後は勝敗決定後のポイントを打ち切る場合がある
- ・登録人数の差異による、勝敗の決定方法

A（登録人数） vs B（登録人数）	勝 敗
A（7～9人） vs B（7～9人）	現行通り
A（7～9人） vs B（6人）	S3はAの不戦勝（1勝）からスタート
A（7～9人） vs B（4～5人）	S3、D2はAの不戦勝（2勝）からスタート
A（6人） vs B（6人）	2勝2敗の場合は、取得ゲーム率の高い方の勝ちとする 取得ゲーム率が同じ場合は S1 勝者の勝ちとする
A（6人） vs B（4～5人）	D2はAの不戦勝（1勝）からスタート 2勝2敗の場合は、取得ゲーム率の高い方の勝ちとする 取得ゲーム率が同じ場合は S1 勝者の勝ちとする
A（4～5人） vs B（4～5人）	2ポイント先取

取得ゲーム率とは（全ての試合の取得ゲーム合計数）÷（全ての試合のゲーム合計数）

なお、不戦勝の場合、試合のゲーム数は6、勝者の取得ゲーム数は6、敗者は0となる。

怪我などによるリタイアの場合は、勝者はリタイアの後、残りのゲームを全て勝ったとしてゲーム数を記録し、敗者はリタイアするまでに取得したゲーム数を記録する。

2 本戦

(1) 日程

10月29日(土)・・・準々決勝 および ベスト4リーグ戦第1試合

10月30日(日)・・・ベスト4リーグ戦第2試合・第3試合および団体Ⅱ部出場校決定戦

両日とも 8時30 集合 8時45分 出席〆切

※30日は8時45分より監督者会議を行います

(2) 試合会場

神戸総合運動公園

(3) 試合方式

準々決勝、ベスト4リーグ戦とも8ゲームズプロセット。団体Ⅱ部出場決定戦は1セットマッチ。

3 推薦大会

上位2校を全国選抜近畿地区大会に推薦する。今年は全国選抜大会が第45回の記念大会(近畿地区大会は兵庫県開催)となるため、上記の2校に加え、団体Ⅱ部に4校を推薦する。

4 大会注意事項

- ① 団体戦は必ず監督の引率のもとで試合を行う。
登録した監督が試合当日欠席する場合は、その学校の代理の教員が引率しなければならない。
- ② 各校は予選会場で出席時にボールを1ダース受け取る。
勝者はニューボール1ダースを持って次の試合に臨み、敗者は使用球と残りのボールを持ち帰る。
準々決勝進出校は本戦(10月29日)にニューボール1ダースを持参すること。
- ③ 原則として、試合開始の整列の際にいなかった選手は、以後のその日の全ての試合に出場することができない。
- ④ 審判はセルフジャッジで行う。
- ⑤ 団体戦のベンチコーチは監督1名(引率顧問も可)または登録選手1名に限る。
- ⑥ 雨天の場合に備えて、出場校はあらかじめ予選会場校の連絡先を確認しておくことが望ましい。
- ⑦ 会場には全員が使える更衣室がないので、試合のできる服装で集合することが望ましい。
- ⑧ 大会では ウィルソン US OPEN EXTRA DUTY を使用する。

5 新型コロナウイルス感染拡大防止のための注意事項

- ① 選手、テニス部員、顧問以外(保護者等)の応援、観戦も可とする。ただし、予選会場により観戦不可の会場もある(顧問総会で会場校より連絡)。
- ② 発熱などの感染の疑いがある方の来場はご遠慮ください。
- ③ 「検温表」(高体連ホームページよりダウンロード)は、各学校で集約(選手、テニス部員、顧問、保護者等の分をまとめる)し、顧問が受付に提出すること。
- ④ 試合中でないものは原則としてマスクを着用のこと。
- ⑤ こまめな手洗いを励行すること。(特に用便後、試合後、食事前の手洗い励行、30秒以上かけて手洗いのこと)
- ⑥ 応援は拍手のみとし、声を出しての応援は禁止する。
- ⑦ 当日体温が37.5℃以上ある場合は試合に参加できない。
- ⑧ 試合後の握手、ダブルスでのハイタッチ等、体に直接触れることを禁止とする。
- ⑨ 大会中のみでなく試合会場の行き帰りでもマスクの着用や三密を避ける等コロナ感染予防に努めること。
- ⑩ 自分で出したゴミは密閉して自分で持ち帰ること。
- ⑪ 選手が使用するタオルについては、各ベンチに置くようにすること。コートの後ろに置いたり、フェンスにぶら下げることは認めない。頻りにタオルを使用する可能性がある場合は、ハンドタオルなどを各自で用意しておくこと。S字フックを各自で用意して、タオルをコート後方のサイドライン外側に吊すことは認める。